

～まん延防止措置区域の指定を受けて～
市民の皆様へのメッセージ

藤沢市長の鈴木恒夫です。

市民の皆様、事業者の皆様には、不要不急の外出自粛や営業時間の短縮など、いのちと社会を守る感染拡大防止の取組に、ご理解とご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。

県内における感染の状況はここ数日、新規感染者の急増が続いており、緊急事態宣言の目安とされるステージⅣの基準を超え、7月16日には、446人に達しました。人流の増加に加え、感染力が強いデルタ株の影響も拍車をかけていると思われ、今年初めの緊急事態宣言時に匹敵するほどの感染状況となっています。

県はこのような状況に鑑み、7月16日、「神奈川版緊急事態宣言」を発出し、宣言に伴う対応として、まん延防止等重点措置の中で、最大級の対応を図り、本市を含む全市町が7月22日から「措置区域」とされることとなりました。

まずは、ワクチン接種の状況についてお知らせします。先週は週当たり2万4千回の接種を行っており、現在の接種回数は14万5千回となっております。

現在、ワクチンの供給状況が不安定で、予約が大変混み合っておりますが、希望する市民の方が円滑にワクチンを接種できるよう県に要望活動を実施いたしました。

供給されたワクチンを最大限生かし、医療機関などの個別接種や企業・大学等における職域接種を促進するとともに、新たな会場に湘南アイパークを加えるなど、集団接種の拡充に取り組んで参ります。

長期にわたる自粛のお願いにより市民の皆様にはご負担をおかけすることになりますが、感染拡大を食い止めるには、基本的な行動の徹底だと考えております。

こまめな手洗い，不要不急の外出や移動の自粛，マスク飲食などの基本的な感染予防対策をお願いします。

本市といたしましても，ワクチン接種が希望する市民の皆様に行きわたるよう体制を充実させるなど，市民の皆様と心を一つにして，この難局を乗り越えていきたいと思っております。

7月22日からはオリンピック開幕に伴う4連休となります。また，オリンピック，パラリンピックでは，藤沢にゆかりのある選手がセーリング競技やサーフィン，ボッチャなどをはじめとする競技に出場します。皆様の応援は選手の大きな力になり，感動を生み出します。「おうちでの熱い応援」をよろしくをお願いします。

2021年（令和3年）7月21日

藤沢市長

鈴木恒夫